

民話 声の図書室

登米市南方町の永浦誠喜の語り「2」

語り手 永浦誠喜

聞き手 みやぎ民話の会

撮影 みやぎ民話の会

日時 1999年11月14日

場所 宮城県登米市南方町

制作 みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム

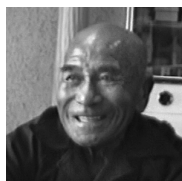
事業年度 2012年度
発行年度 2013年度
資料番号 10001137

民話声の図書室

登米市南方町の永浦誠喜の語り「2」

みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム

解説 この映像は、宮城県を中心とする伝承の語り手による民話の音声・映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していく事を目的として実施した事業の中で、宮城県登米市南方町の永浦誠喜さんの語りをまとめたものです。



永浦 誠喜（ながうらせいき）

明治四十二年（一九〇七）宮城県登米市南方町青島屋敷に生まれる。姉とともに、すぐれた語り手であった祖母から、たくさん民話を聞いて育つ。誠喜さんが記憶する話は三百話近くにのぼる。昔語りのほか、地元の農業、伝統芸能、地域文化などのさまざまな振興事業を推進する。
平成十四年（二〇〇二）逝去。

キーワード

・伝承の民話
・語り聞く
・土着の魂／旅人の眼
・記録映像

- ① マスの恩返し (3分) [上巻 第三章 80]
- ② 歌詠み家族 (8分) [中巻 第四章 111]
- ③ 彫り大工の腕くらべ (3分) [中巻 第四章 112]
- ④ イヌの恩返し (7分) [上巻 第三章 81]
- ⑤ ネコの恩返し (6分) [上巻 第三章 82]
- ⑥ 瘤取り (7分) [上巻 第三章 83]
- ⑦ 尻鳴りへら (11分) [上巻 第三章 84]
- ⑧ 屁っぱり嫁ご (12分) [上巻 第三章 85]

※〔 〕は、『みやぎ民話の会叢書 第十集 青島屋敷老翁夜話 一登米郡南方町の民話一』の目次の話数です。



館内視聴(smt) ○ 館外貸出(smt) ○ 団体貸出 ○ | 59分 | カラー | 4:3 | ステレオ | 日本語 | 片面一層 MPEG-2 |

【おことわり】

- ・私的鑑賞の目的以外に、無断で複製、改編、公衆送信（放送、有線放送、インターネットなど）、上映、上演、頒布（販売、貸与など）、翻訳、翻案などを使用することはご遠慮ください。
- ・学校教育または社会教育など、公益目的での利用を希望される場合は、視聴覚教材ライブラリーをご利用ください。
- ・収録された作品等の著作権はそれぞれの権利者に帰属しています。二次利用等についてのご相談は、せんだいメディアテークまでお問い合わせください。
- ・内容に一部不適切な表現がふくまれる場合がありますが、記録保存の観点からそのまま収録しています。あらかじめご了承ください。



【発行】せんだいメディアテーク 電話：022-713-4483 / ファクス：022-713-4482
E-mail: office@smt.city.sendai.jp Website: http://www.smt.jp

